

(仮称)苫小牧市民ホール整備事業に関する民間提案の結果

主な提案内容	PPP/PFI事業として進める場合の方向性
<ul style="list-style-type: none">・PFIはBTO方式6者、BOT,BOO方式が1者、期間は15～30年・SPCを設立しリスク回避を行う・カフェスペース等飲食に係るスペースの設置・敷地内で独立採算による、その他収益施設の設置・定期借地	<ul style="list-style-type: none">・事業期間は20年程度とし、事業手法はBTOを基本に、最適な手法を検討する。・SPCの設立等、リスクを抑える運営手法を重視する。・民間収益施設は、いずれの提案も可能とするように配慮するが、収益性を重視する。

※ PFI法第6条の規定に基づく手続きですが、募集要項P5に記載のとおり、市がPPP/PFI事業として進めることが適当と判断した場合に、採用された内容を今後の事業者選定手続きに際して関連資料に反映し、採用された事業者には加点評価の対象とする予定です。

※ 主な提案内容については、民間事業者からの提案内容をおおまかに記載しております。採用内容に記載した以外は、今後の事業者選定に際して、束縛されるものではありません。